

ウォークラリー北コース

1. 準備する物

(1) 利用者が持参する物

個人 → はき慣れたズックか長靴、軍手、帽子、雨具、虫よけスプレー、水筒

団体 → 携帯電話

(2) 所で準備する物

ゼッケン、地図、解答用紙、バインダー、鉛筆

2. 所員と付き添い指導者との打ち合わせ事項

- ・ チェックポイント：本部、C（県道横断）、D（県道横断）、横断歩道、本丸、Hの下（分岐点）
- ・ 本部はチェックポイントの先生と連絡をとり、通過グループを確認する。
- ・ チェックポイントでは、通過した班をチェックする。コースを間違っている班には指導する。大幅に遅れた班は、ポイントを省略させたり、来た道を引き返させたりする。

3. 児童に説明すること

(1) ゲームのしかた（100点満点、目標時間を設定する場合は200点満点）

- ・ 赤A～K（逆コースはK→A）のポイントと標柱を見つけてくる。（100点満点）
 - ◆ポイント…ひらがな各5点（5×11） ◆城趾内の標柱の文字各5点（5×7）
 - ◆ひらがな文字を並べかえて作る文章10点
- ・ 班で設定した時間を目標に帰ってくる。（100点、得点規準表あり）

(2) 説明事項

- ・ 大まかな道（北電・とんがり屋根・城・尾根・階段等）
- ・ 迷いやすいところ
 - ◆C：サイクリング道
 - ◆D：車道横断→階段鉄塔右→車道横断→石橋上広場右
 - ◆E～F：駐車場から車道へ戻らない。
 - ◆F～H：右の遊歩道へ行かない（めひの野園への道）
 - ◆H：100段の階段を下りたら右折し、すぐまた右折
- ・ 迷ったら、元の道へ戻る。位置がわかったところからやり直す
- ・ ×（赤）の表示があるところにはいかない。
- ・ どうしても困ったら人に聞くか、近くの施設や民家に電話を借りて所へかける。（434-1908）
- ・ チームの態度が採点される。（各団体の実態に合わせて設定） スミヨクハ
 - ◆班で協力、励まし合っているか。
 - ◆単独行動や、走っている人がいないか。
 - ◆階段を登り切ったところで友達を待つ。 など
- ・ ハチが来たら、小さくなって去るのを待つ。
- ・ へびがあってもあわてずに、へびが過ぎ去るのを待つ。



(3) 地図の見方（方向・距離・記号等）

- ・ 絵地図（表）の見方……自動車道、サイクリング道、階段、建物、鉄塔、電線等
- ・ こま地図（裏）の見方…緑色の文字、黒の太い矢印、記号等
- ・ 写真地図の見方…地図ポイントとの照らし合わせ方、順序等

4. その他

- ・ 低学年の場合…班に1名指導者が一緒に付き添ってまわる。
- ・ 指導者が少数…現地でコース等を教える。チェックポイントの精選
- ・ 人数が多い…順・逆コースで実施。ゼッケンを色分けする。
- ・ 得点のしかたは団体ごとに設定してもよい。